

学校施設老朽化対策先導事業

～ 学校施設の長寿命化 ～

平成25年度新規事業

○ 背景

- ・ 建築後25年を経過し、老朽化した学校施設が約7割を占める
- ・ 国・地方とも厳しい財政状況の中で、これらの施設が更新時期を迎えつつある
- ・ 安全面や機能面等において改善を図ることが喫緊の課題



外装材の著しい劣化



老朽化による手すりの落下



トイレの老朽化による臭気の発生

対策

○ 老朽化対策

(1) 計画的整備

「事後保全型」から「予防保全型」管理への転換、劣化状況・教育内容への適応状況等の適切な把握、中長期的な整備計画の策定が必要

(2) 長寿命化

改築より工事費が安価で、排出する廃棄物が少ない長寿命化改修に転換

(3) 重点化

余裕教室等の空きスペースの有効活用をより進めるとともに、地域の実情に応じ、公共施設との複合化や減築を行うことも必要

○ 学校施設老朽対策先導事業

平成25年度予算(案)額：6,708千円

100年学校モデル(建築後100年程度使用することを目指した改修モデル)

優れたリニューアル改修モデル(多様な学習方法等への適合や省エネ化等の

現代の社会的要請に対応した改修モデル)

複合化・減築モデル(他の公共施設との複合化や減築を利用した改修モデル)

→ 原則 ～ 各1件ずつ選定

3か年事業の初年度

基本計画の策定



【事業内容】

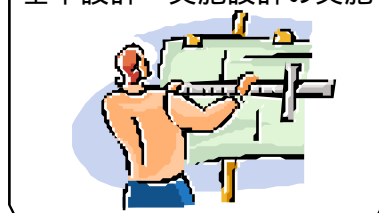
全国3地域程度の自治体において、学校設置者、学校関係者、地域住民、設計者等を交え、長寿命化改修の内容に関するワークショップの実施

【補助内容】

基本計画の策定に係る費用について財政支援

3か年事業の2年目

基本設計・実施設計の実施



【事業内容】

初年度に実施したワークショップの結果を踏まえ、長寿命化改修の基本設計と実施設計を実施

設計費は工事費に算入

3か年事業の最終年度

長寿命化改修工事の実施



【事業内容】

実施設計に基づき、長寿命化改修工事の実施

補助率(H25'時点)

1/3

事業費：実工事費

【補助内容】学校施設環境改善交付金による財政支援(事業の優先採択・補助単価の加算)